

[公財]いわて産業振興センター広報誌

産業情報

INDUSTRY INFORMATION IWATE

いわて

2024/10・11 Vol.231

★キラリ輝く★

岩手の
企業

花巻市

きみづかエイチアールイー株式会社

変化する世の中で 普遍的なオリジナル商品を



各部事業紹介…6・7

岩手県の中核的産業支援機関

公益財団法人いわて産業振興センターをご活用ください…8



★キラリ輝く★
岩手の
企業

木地は燻煙乾燥させてから成形する。ろくろ成形時に出た木屑は燻煙する時の焚き付けに。無駄がない。



2023年12月にリリースした「AppleWatch充電器の木皿」。くり抜いた溝に充電器を乗せるとカチッと吸い付くようにフィット。木目は自然が作る模様。一つとして同じものはない。MugSafe充電器用もリリースした。（*Apple社の純正商品ではありません。）

変化する世の中で 普遍的なオリジナル商品を

約40年にわたって、盛岡発祥のハンバーグチェーン店の木皿を作り続けている会社きみづかエイチアールイー株式会社が、自社ブランドを立ち上げました。その名は「KINERGY®」。木のエネルギーを内に秘めた普遍性を感じるプロダクトは今、岩手から海外へ飛躍しようとしています。

花巻市 きみづかエイチアールイー株式会社



ハンバーグ店の木皿を 約40年来製造

花巻市下小舟渡にある「きみづかエイチアールイー株式会社」は、盛岡発祥のハンバーグレストランチェーンの木の器を製造している。分業制が多い木製品の加工において同社は、木地造りから塗装まで、一貫した製造を行う。中でも、ろくろ成形を得意としており、その器は木目が美しく、木の温もり

を感じる。木の特性を活かし、人の手によって作られているため一つとして同じ木目はない。ハンバーグレストランとは約40年来の付き合いで、独特な形の木皿は商品開発から携わっており信頼も厚い。木皿は多い時で年間30,000枚製造することもある。

世の中の変化に応じ 自社ブランドを開発

2006年、社名をきみづかエイチアールイー株式会社に変え、代表取締役就任した君塚乾太郎さんは、自社ブランドの必要性を感じていた。それでも、木皿の生産数は順調に伸び、業績は安定していた。そんな中突然、コロナショックが世の中を襲った。

「ハンバーグレストランのために製造している木皿は自社商品として販売することはできません。そこで、今後、会社が生き残っ

1 盛岡発祥のハンバーグレストランチェーンの皿。着色を終え、乾燥中だ。
2 この道30年以上の木地師。くり抜く時に使う鉋は、木地師が作っているという。



ていくためには自社ブランドを立ち上げ、顧客取引を増やしていかなければいけないと感じました」と話す君塚さん。世の中の変化に応じるため、木皿の製造と並行して自社ブランドの開発に着手した。

自社ブランドの名は 「KINERGY® (キナジー)」

かねてよりApple社のファンだった君塚さんは、Apple直営店を訪れることもあった。すると店内の展示に使用されている什

器は、木を使ったものが多いと気づく。その時のひらめきをヒントに、ろくろ成形を得意とする自社の技術で何か作れないかと、アイデアを凝らした。構想から2年。「AppleWatchの充電器の皿」を2023年12月にリリースした。自社ブランド「KINERGY®」の商品である。

「AppleWatchの充電器は、いつも定位置がありませんでした。木皿を得意とする会社なので、充電器をデスクやテーブルの上に美しく存在させるための木皿を作

りました」と話す君塚さん。木皿を伏せたようなフォルムに充電器がフィットする形。AppleWatchをセットすると姿がとても美しく、機能性だけでなく装飾性も備えた商品になった。

「木皿は普段、ウレタン塗装で仕上げていますが、これは木そのものの感触を大切にしたいので、オイル仕上げにしています」と君塚さん。岩手県産のカツラ、ホオノキ、トチを使用した商品は、見て触れて木の質感を味わえるものになった。

展示会の参加で感じた 対面販売の大切さ

販売方法については初め、ネットだと考え、漠然としたものだった。そこで販売を「**よろず支援拠点**」
▶詳細は5ページ **この事業を活用しました**
に相談。すると展示会への出店を勧められた。「ほとんど初めての展示会でしたが、お客さまと会話することは大事だと気づきました」と君塚さん。木の質感や使い方など、対面だから伝えられるものがあった。以来、対面での販売を大切にしている。

いわて産業振興センターの提案から「**東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024**」にも参加
▶詳細は5ページ **この事業を活用しました**
した。「KINERGY®」シリーズとして他に、色彩豊かな木皿もリリース

ス。2025年1月はフランスの「メゾン・エ・オブジェ」に参加する予定だ。きみづかエイチアールイーは

今後、「KINERGY®」で世界へと羽ばたくに違いない。



3 「KINERGY®」シリーズの木皿。料理を引き立てる色、重ねやすい形を試行錯誤。ウレタン塗装なので洗いやすい。

技術ポイント TECHNOLOGY POINT

漆器などの木の器は、木地、成形、塗りの工程があり、それぞれ分業でおこなっているが、きみづかエイチアールイー株式会社は、全ての工程を自社で一貫しておこなっている点で全国でも希少な存在だ。ろくろ成形が得意で、道具である鉋から自作し、木と対話しながら一つひとつ作り出す。木地が完成したら着色、目止めをし、乾燥させてからウレタン塗装工程に。

塗っては研磨し、塗っては研磨し、と繰り返すことで、塗装を定着させる。ウレタン塗料は約40年前に岩手県工業技術センターと開発したオリジナル塗装。ツヤの持ちがよく、食洗機で使っても剥がれにくい。



4 重ね塗りする塗料は全て異なる。塗料同士の定着を良くするため、乾燥後にヤスリがけを行う。
5 性質の異なる塗料を重ね塗りすることで、艶だけでなく肉厚感や耐久性が生まれる。

この事業を活用しました

01 小さな会社の「稼ぐ力」を大きくします!よろず支援拠点

岩手県よろず支援拠点は「コンサルファームに匹敵する対応を無料にて何度でも」をキャッチフレーズに企業の経営課題解決に向けてアドバイスをを行ういわば公的なビジネスコンサルファームです。単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、御社の強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導きます。御社を担当するのは、さまざまなビジネス分野の第一線で活躍中のエキスパートたちです。どんなお悩みでもお気軽にご相談ください。

岩手県よろず支援拠点



📞 お問い合わせ よろず支援拠点 TEL.019-631-3826

02 東京インターナショナル・ギフト・ショー出展支援

いわて産業振興センターが事務局を務める「いわての物産展等実行委員会」では、岩手県の伝統工芸・地場産業事業者が製造する優れた商品の販路拡大を支援するため、東京インターナショナル・ギフト・ショーに岩手県共同出展ブースを設置しました。来場したバイヤーから商品に対する意見やニーズを聞くことができ、今後の商品開発の参考となったほか、本展示会出展を契機とした、今後の取引拡大が期待されます。



📞 お問い合わせ 地域産業担当 TEL.019-631-3823



代表メッセージ 代表取締役社長 **君塚 乾太郎** 氏

私たちは木製品の中でも「ろくろ成形」を得意としています。木皿は美しい自然の木目を活かし、耐久性の高いウレタン塗装で仕上げます。一つひとつ異なる木目を眺めながら製作していると、人間一人一人に素敵な個性があるのと同じだと感じます。企業としての存在意義は「楽しさ分かち合う」。木皿を使う人に、木の魅力を伝え、対話しながらたくさんの方々の楽しさを分かち合いたいと思います。自社ブランドは、木のエネルギーという意味で「KINERGY®」と名付けました。

代表 Profile 2000年東北工業大学を卒業し、同年にクラフトライフ君塚に入社。その後、2006年きみづかエイチアールイー代表取締役社長に就任し、2023年12月にKINERGY®をリリースする。

企業データ CORPORATE DATA

会社名 きみづかエイチアールイー株式会社
本社 岩手県花巻市下小舟渡474-3
電話 0198-22-5974
代表者 君塚 乾太郎
従業員 2名
業種 木製品製造業
URL https://kimizuka-hre.com/

沿革 HISTORY

平成18年～ クラフトライフ君塚から社名をきみづかエイチアールイーに変更
平成22年～ 業務用木製品の自社製造(塗装部門)開始
平成30年～ 業務用木製品の自社製造(木地整形部門)開始
令和5年12月 「AppleWatch充電器の木皿」をリリース
令和6年6月 コースターをリリース
令和6年8月 MakuakeでMagSafe専用コースター出品(8月26日～10月24日)
令和6年9月 ワンプレートをリリース
令和6年9月 「東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024」に参加



HREの意味

H→humor(ユーモア)
R→re-creation(リ・クリエイション)
E→enjoy(エンジョイ)

各部事業紹介 事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

「第5回記念 岩手県の観光と物産展」の開催

8月28日から6日間、名古屋名鉄百貨店において、「第5回記念 岩手県の観光と物産展」を開催しました。今年度は、食品・酒類・工芸品など県内59の事業者が出展し、自慢の逸品を出展しました。

岩手県の豊かな自然が育んだ食の特産品や、匠の技が光る工芸品を展開したほか、会期初日には、ミスさんさ踊り、ミス太鼓、ミス笛による盛岡さんさ踊りの演奏披露を行い、会場内は多くの来店客で賑わいました。

今後も東海圏のお客様や岩手ゆかりの方々に岩手県が誇る食と工芸の魅力をアピールできるよう取り組んでまいります。



■ お問い合わせ ■

地域産業担当 TEL.019-631-3823

産学連携部

「いわて産学連携・DX展」のご案内

当センターでは、県内ものづくり企業のデジタル化・DX推進を支援しています。

この度、県内IT企業等によるデジタルツール紹介や、大学のデジタルに関連した技術シーズ・研究の紹介を行う「いわて産学連携・DX展」を開催いたします。

岩手県内外のものづくり企業約300社が一堂に会するいわて商談会と併催し、県内ものづくり企業のDX推進や企業と大学等との産学連携マッチングを図るための展示会となっております。

いわて商談会に参加される企業はもちろんのこと、どなたでもご覧になれますので、ぜひご参加ください。

【開催概要】

- 1. 開催日 令和6年11月7日(木)
- 2. 会場 ホテルシティプラザ北上
- 3. 出展内容

- ①IoT、画像処理、AI、ロボット等の先端技術を活用した提案
- ②ものづくり企業の生産性向上に貢献する技術提案
- ③大学等が保有する技術シーズの紹介 等

■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825

産業支援部

岩手県よろず支援拠点の大船渡サテライトオフィスを開設しました

岩手県よろず支援拠点では、令和6年7月より、「大船渡サテライトオフィス」を大船渡商工会議所内に開設しております。

毎月第一金曜日に開設しており担当コーディネーター2名で対応させていただきますので、近隣事業者の方は是非ご利用いただければと思います。

そのほか拠点への来訪が難しい方でも随時オンライン相談の受付も行っておりますので、どんなお悩みでもお気軽にご相談ください。

■ お問い合わせ ■

よろず支援拠点 TEL.019-631-3826

産学連携部

令和6年度 競争的研究開発資金2件採択

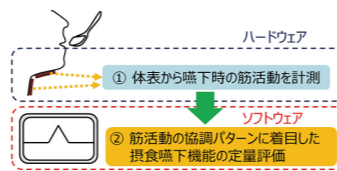
当センターでは研究開発プロジェクトの提案に向けた産学官の取組を支援するとともに、採択プロジェクトの管理法人として研究開発及び事業終了後の展開を支援しており、今年度は2件が採択されました。

成長型中小企業等研究開発支援事業(経済産業省)

テーマ:「放射線被曝や痛みを伴わない 摂食嚥下機能検査システムの研究開発」

研究実施者:フィンガルリンク(株)、岩手大学、東京科学大学

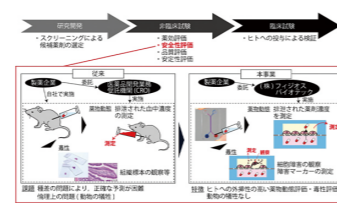
侵襲性を伴わず、専門知識がなくとも定量的に且つ簡便に摂食嚥下機能の検査を可能とする、次世代型の検査システムの開発。



テーマ:「新薬の薬物安全性評価をサポートする 腎臓生体模倣システムの開発」

研究実施者:(株)フィジオスバイオテック、(株)アイカム・ラボ、京都大学

マイクロ流体デバイス技術をベースに、腎臓のヒト多能性幹細胞を用いて、薬物動態を評価可能な生体模倣システム(MPS)を研究開発し、動物実験代替法として事業化を目指す。



■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825

産業支援部

「工程改善夏季セミナー～工場見学会～」開催報告



当センターでは、県内企業における生産性向上を目的とした工程改善活動の普及に向け、工程改善個別指導を実施しております。昨年度からはトヨタ自動車東日本株式会社様の協力の下、現役社員による個別指導を開始しております。指導先企業が最先端のモノづくり工場の見学を行うことにより、指導内容の再確認と、知識向上・スキルアップを図る目的で、8月22日・23日に「工程改善夏季セミナー」として、トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場様・株式会社ケーアイケー様の工場見学会を開催し、19名の方に参加いただきました。

工場見学では自動車の製造工程の見学にとどまらず、改善活動や人材育成の取り組み、品質管理等について丁寧にご説明いただきました。見学を通じ、ものづくりの現場と従事する人を大切にしたい工程づくりを肌で感じる事ができ、大変有意義な見学会となりました。

今後とも、県内企業の工程改善への取り組みの支援に努めてまいります。

■ お問い合わせ ■

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

ものづくり振興部

「半導体関連人材育成施設(仮称)建築工事起工式」を開催しました

9月13日(金)に北上市北部産業業務団地内において、「半導体関連人材育成施設(仮称)建築工事起工式」を開催しました。

岩手県知事、北上市長、いわて半導体関連産業集積促進協議会会員企業等、57名の関係者の方々にご臨席を賜り、厳かに神事が執り行われました。

本施設は、半導体関連企業の従業員を対象とした半導体製造装置のメンテナンスエンジニアの育成、大学や高専等を対象とした講習、小中高生や保護者等を対象とした見学会等、産学官が連携して人材育成に取り組む施設として全国初の試みとなります。

本施設が地域における半導体関連産業への関心を高め、次世代を担う人材の育成と確保に向けた活動拠点となるべく、来年春の開所に向けて準備を進めてまいります。



■ お問い合わせ ■

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

ものづくり振興部

「令和6年度 第1回いわて医療機器事業化研究会」を開催しました

7月31日(水)に盛岡市のホテルニューカーリーナにおいて、「令和6年度 第1回いわて医療機器事業化研究会」を開催しました。

研究会では、県外の医療関連製品メーカー2社から、岩手県内ものづくり企業との協業の可能性やサプライヤー企業に求めること等についてご講演いただくとともに、当センター医療機器事業化コーディネーターにより、医療機器産業への参入に向けた取組のポイントについて解説いただきました。

当センターでは、医療現場のニーズに対するマッチング会の開催や各種セミナーの開催等により、医療機器関連製品の事業化及び新規参入に向けた取組を支援していますので、お気軽にお問い合わせください。

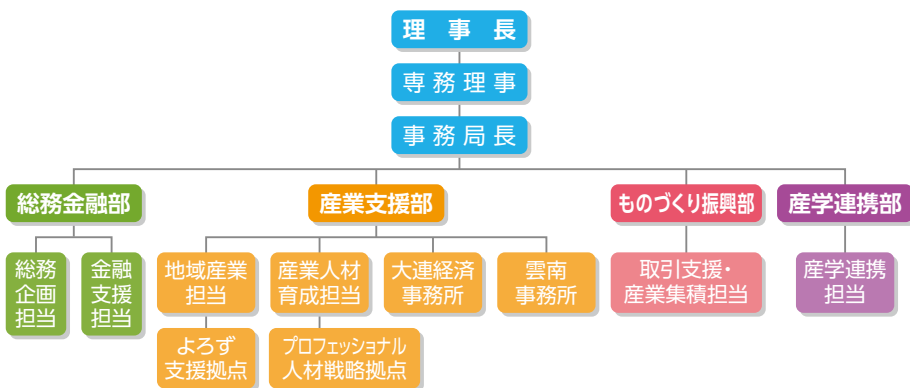


■ お問い合わせ ■

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

岩手県の中核的産業支援機関 公益財団法人いわて産業振興センターをご活用ください。

いわて産業振興センターは、1971年(昭和46年)に県内中小企業の設備近代化を推進するため発足しました。その後、取引支援や研修事業、産学連携による研究開発型企業の育成や物産振興、貿易の推進などの機能を強化して、現在のセンターに発展してきました。



総務金融部
 総務企画担当 ……TEL.019-631-3820(代表)
 金融支援担当 ……TEL.019-631-3821

産業支援部
 地域産業担当 ……TEL.019-631-3823
 産業人材育成担当 ……TEL.019-631-3824
 よろず支援拠点 ……TEL.019-631-3826
 プロフェッショナル人材戦略拠点 ……TEL.019-631-3828

ものづくり振興部
 取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

産学連携部
 産学連携担当 ……TEL.019-631-3825

設備貸与制度のご案内

制度の概要

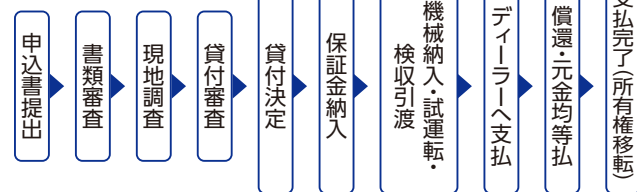
岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。

制度のしくみ



申込方法

①申込から貸与まで



②申込方法

ホームページから申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、添付書類を添えて、センターに郵送又は、直接ご持参ください。

貸与の条件

対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年(導入設備耐用年数上限)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円
対象設備	自社で使用する事業用の設備(建物を除く)

保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)
利息 (貸与損料)	年率1.10%～1.60%(固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定)
連帯保証人	法人:代表者1人、個人事業者:不要 (経営者保証ガイドラインに準拠)

■お問い合わせ 総務金融部 金融支援担当 TEL:019-631-3821

賛助会員制度のご案内

センター事業の一層の充実を図り、皆様のニーズに応じた支援を行うことを目的に賛助会員を募集しています。ご支援いただいた賛助会費は、1/2以上を公益目的事業費として県内企業の発展のために活用し、残りをセンターの運営管理費に充当させていただきます。県内企業の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

年会費 **一口20,000円**

- 会員特典
- ①「産業情報いわて」定期送付
 - ②取引商談会の参加料割引
 - ③経営管理者向け研修会の参加料割引
 - ④社内研修用DVD貸出

申込URL <https://www.joho-iwate.or.jp/sanjo>

お問い合わせ 総務金融部 総務企画担当 TEL:019-631-3820